

糖尿病から腎臓を守る!

大分県「糖尿病性腎症重症化予防」の取り組み

糖尿病の多様な合併症の一つである糖尿病性腎症。人工透析に入る患者の4割がその原因といわれている。そこで国は「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し日本糖尿病対策推進会議と自治体、医師会が連携した対策を行っている。全国の中でも新規透析導入の割合が高い大分県は2019年12月、大分大学、大分県医師会と連携し「糖尿病性腎症および慢性腎臓病の重症化予防に係る連携協定」を締結した。糖尿病治療は近年向上し、血糖コントロールを良好に保つことで、健康者と変わらない生活を送ることができるとは、仕事に影響したり不利益を被ることもあるという。このようなステイグマ(負の烙印)を取り除く活動(アドボカシー)としても注目される大分県の取り組みについて今回、それぞれの立場から連携や糖尿病に関する正しい理解の必要性について伺った。

患者の日常を診るかかりつけ医として 重症化予防を推進



大分県医師会 常任理事
井上 雅公 氏
(杉谷診療所 院長)

ではないのです。しかしコロナ禍で医療分野でもインターネットによる会議や一部の診察が進み、ある意味で糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する契機になったと思います。

大分県は新規人工透析導入率が高く、近年は70〜80代での新規透析導入も増えていきます。糖尿病性腎臓病に加えて高血圧から腎硬化症が進行し透析導入する方も珍しくありません。

透析導入予防には糖尿病の早期発見・早期治療が第一ですが、県内に糖尿病や腎臓病の専門医は少なく、しかも都市部に集中しています。そのため遠方の非専門医が専門医に相談するとか患者さんに専門医を紹介する機会を見極めるのが難しい事もありました。大学病院が遠い地域は通院も容易めたいと思います。

三者連携で糖尿病性腎症の重症化予防を推進 県民の人工透析導入抑制へ



大分県福祉保健部
部長 山田 雅文 氏

大分県では、2019年12月に大分県医師会、大分大学と締結した連携協定に基づき、糖尿病性腎症重症化予防の体制整備等の事業に取り組んでいます。背景には、大分県の人工透析患者数が全国でも高い水準にあり、透析原因の4割を占める糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の抑制が喫緊の課題となっている状況があります(19年12月末現在、人口100万人当たり3千596.5人・全国5位、日本透析医学会)。

一度人工透析が必要になると、透析治療には日常生活の多くの時間が割かれ、経済的な負担を強いられます。重症化予防の取組は人工透析への移行を防ぐことはもちろん、生活の質(QOL)の維持・向上に繋がるものと考えます。

多様で重篤な合併症を引き起こす「糖尿病」

糖尿病とは、膵臓からのインスリン分泌が少ない、またはその作用が不十分で血糖値やヘモグロビンA1c値が基準を超えた状態です。初期はほぼ無症状ですが、長く放置すると血管に負担が掛かり、糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、狭心症や心筋梗塞、脳卒中、足の壊疽など全身の大小血管に重篤な合併症を引き起こします。



柴田 洋孝 氏

糖尿病内科と腎臓内科の一貫体制で重症化を予防

大分県は新規透析導入率が高かったため、当病院では2013年「糖尿病透析予防診療チーム」を設立し、通院治療による重症化抑制に取り組んできました。そして19年12月、県や県医師会との重症化予防協定を締結し、20年に「糖尿病性腎症重症化予防専門外来」を新設しました。

早期発見に有効な「eGFR」と「アルブミン尿」検査

腎機能は1〜5期に分けられ、5期は人工透析が必要で腎不全状態です。タンパク尿が多いと心血管病による死亡リスクが高まるので、早い段階での発見が大切です。明らかな腎疾患ならタンパク尿で診断が付きませんが、糖尿病性腎症の早期発見には、肝臓で作られるタンパク質の一種で腎臓の傷み具合の目安となる「eGFR(推算糸球体濾過量)」と「アルブミン尿」検査が重要です。しかし、アルブミン尿は定期健康診断の検査項目には含まれておらず別途オーダーになるため発見が遅れがちです。血糖値は正常でもアルブミン尿値ではすでに腎機能が2〜3期の方もいますし、血糖値は同じでもアルブミン尿の量で治療は異なります。典型的な糖尿病性腎症では、アルブミン尿の量が少しずつ増加した後にeGFR低下が進む経過が多いです。一方、最近ではアルブミン尿があまり出ない一方でeGFRの低下だけが進行する非典型例もあり、どちらも透析導入を食い止める必要があります(まとめて「糖尿病性腎臓病」と呼びます)。

治療では食事や運動、服薬などで尿タンパクを減らすことが大事で、治療や生活改善で3期後半から2期に改善した方もいます。3〜4期を維持・改善し透析導入を遅らせ、安全に準備するかが重要です。

<p>日本医療機能評価機構認定病院 独立行政法人国立病院機構 別府医療センター 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院</p> <p>院長 矢野 篤次郎 腎臓内科 菊池 秀年</p> <p>大分県別府市大字内蔵1473 ☎0977(67)1111 https://beppu.hosp.go.jp/</p>	<p>独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター</p> <p>院長 奈須 伸吉 代審(内分)部長 嶋崎 貴信</p> <p>大分市横田2-11-45 ☎097-593-1111 https://oita.hosp.go.jp/</p>
--	--

医療法人 清栄会
清瀬病院
(更生医療指定)

理事長 清瀬 隆 院長 日下部 隆則

〒874-0932 大分県別府市野口中町4番8号
☎0977(25)1555 FAX0977(26)4050

医療法人 聡明会
児玉病院
KODAMA HOSPITAL 院長 衛藤 宏

大分県別府市亀川四の湯町5-19 ☎0977(67)1611
soumeikai.or.jp 検索

医療法人 博光会
塚川第一病院

理事長・院長 塚川 博志
(日本透析医学会認定 透析専門医
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医)

大分市東春日町5番25号
☎097-532-0234代

医療法人 恵愛会
中村病院

理事長・院長 中村 英助

大分県別府市秋葉町8-24
TEL:0977-23-3121 FAX:0977-26-4083

独立行政法人 地域医療機能推進機構
湯布院病院

内科・整形外科・リハビリテーション科
神経内科・眼科・消化器内科
心療内科・循環器内科

大分県湯布院市湯布院町川南252
TEL 0977-84-3171(代表)
https://yuufuin.jcho.go.jp

津久見市医師会立
津久見中央病院

会長 大石 省一郎
院長 石川 浩一

大分県津久見市大字千原6011
☎0972(82)1123
https://tsukumi.oita.med.or.jp

内分泌内科、甲状腺内科、糖尿病内科
医療法人 而今
大分内分泌糖尿病内科クリニック

院長 但馬 大介
(日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本内科学会総合内科専門医)

大分県大分市要町9-19
(大分駅・南口出口を上野方面へ徒歩5分)
☎097(574)7070

内科の専門病院として—
医療法人
大分記念病院
Oita Memorial Hospital

内科、血液内科、呼吸器内科、人工透析内科、糖尿病内科
代謝内科、消化器内科、内視鏡内科、循環器内科
神経内科、リウマチ科、リハビリテーション科、心療内科

大分市羽屋4丁目2-8
☎097(543)5005
大分記念病院 検索

社会医療法人 財団
へつぎ病院

理事長 河村 忠雄 院長 岡部 英司

大分市中戸次5956 TEL097-597-5777
https://www.tenshindo.org/

独立行政法人 地域医療機能推進機構
南海医療センター
JCHO(ジェイコー)

院長・附属介護老人保健施設長 森本 章生

大分県佐伯市常盤西町7番8号
☎0972-22-0547代
https://nankai.jcho.go.jp

医療法人 社団 三杏会
仁医会病院

内科・腎臓内科・人工透析内科

診療時間 午前9:00~13:00/午後14:00~17:30
但し水曜日・土曜日は13時まで

休診日 日曜日・祝日

大分市古国府6-2-47 ☎097(544)7171(代)
仁医会病院 大分 検索

おおいた健康管理センター ☎097(547)1111
仁友の邑(住宅型有料老人ホーム) ☎097(574)5575